

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公開番号】特開 2004-226970 (P2004-226970A)
 【公開日】平成 16 年 8 月 12 日 (2004.8.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-031
 【出願番号】特願 2004-9476 (P2004-9476)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

F 1 6 C 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 1 0 3

F 1 6 C 13/00 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 12 日 (2007.1.12)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

比較的より高温の領域から比較的より低温の領域への熱伝達における使用のための熱均等化デバイスにおいて、この熱均等化デバイスは、

防熱材料の層と、

該防熱材料の層内のグラファイトファイバーと、更に

該グラファイトファイバーと該防熱材料により形成される接触表面と、

を具備しており、

該グラファイトファイバーは、熱を該ファイバーに沿って、前記より高温の領域から前記より低温の領域へ伝達するために、該接触表面において十分に暴露されており、前記より高温の領域と前記より低温の領域との間で伸張するのに十分な長さを有する、熱均等化デバイス。

【請求項 2】

該防熱材料は、テフロン（登録商標）と、ガラスと、セラミックと、ゴムの内の 1 つである請求項 1 に記載の熱均等化デバイス。

【請求項 3】

該防熱材料の層を保持するためのキャリアーを具備する請求項 1 または 2 に記載の熱均等化デバイス。

【請求項 4】

該キャリアーは、該防熱材料の層に隣接するエアポケットを有する請求項 3 に記載の熱均等化デバイス。

【請求項 5】

該接触表面は、ロールの表面に対して配置されるために曲げられる請求項 1 または 3 に記載の熱均等化デバイス。

【請求項 6】

該接触表面は平らである請求項 1 または 3 に記載の熱均等化デバイス。

【請求項 7】

該グラファイトファイバーの少なくとも幾つかは、その一方の端部とそのもう一方

の端部との間で曲げられる請求項 1 または 3 に記載の熱均等化デバイス。

【請求項 8】

該グラファイトファイバーは、該防熱材料内で実質的に直線状である請求項 1 に記載の熱均等化デバイス。

【請求項 9】

グラファイトファイバーの層と、

該ファイバーを実質的に囲んでいて且つファイバーの暴露された表面から離れる、防熱材料と、更に

該ファイバーを囲む該防熱材料の層を保持するキャリアーと、
を具備する熱伝達デバイス。

【請求項 10】

該暴露された表面は、加熱される物体の曲線状の表面に対して配置されるために曲げられる請求項 9 に記載の熱伝達デバイス。

【請求項 11】

該暴露された表面は平らである請求項 9 に記載の熱伝達デバイス。

【請求項 12】

該グラファイトファイバーの少なくとも幾つかは、その一方の端部とそれのもう一方の端部との間で曲げられる請求項 9 に記載の熱伝達デバイス。

【請求項 13】

該防熱材料は、テフロン（登録商標）と、ガラスと、セラミックと、ゴムの内の 1 つである請求項 9 に記載の熱伝達デバイス。

【請求項 14】

該ファイバーは、該防熱材料の該層内で実質的に直線である請求項 9 に記載の熱伝達デバイス。

【請求項 15】

加熱される構造において、この加熱される構造は、

加熱される表面を有する加熱される本体と、

該加熱される本体に隣接する熱均等化デバイスと、

を具備しており、

該デバイスは、

防熱材料の層と、

該防熱材料の層内のグラファイトファイバーと、更に

該ファイバーと該防熱材料により形成される接触表面と、

を具備しており、

該グラファイトファイバーは、熱をそこを通り伝達するために、該接触表面に沿って十分に暴露されており、該接触表面は該加熱される表面と接触するように配置される、

熱伝達デバイス。